大谷スカウト連合協議会結成 60 周年記念全国大会

メモリアル・グラン・ミーティング

基本実施要項



会場: 新潟県妙高市関川 妙高高原池の平温泉

期 間 : 2017年8月4日(金)~6日(日) 2泊3日

主 催 : 真宗大谷派青少幼年センター

企画実施 : 大谷スカウト連合協議会

大谷スカウト結成 60 周年記念大会日程

時日	基本日程	8月4日(金)	8月5日(土)	8月6日(日)
6:00	起床		起	床
7:00	朝のつどい		朝のつどい	(各宿舎にて)
8:00	朝食		朝	食
9:00				撤収
10:00	午 前 の			※各施設をチエックアウト
11:00	課業			宗教儀礼(日曜礼拝) 閉 会 式
12:00	昼 食	受 付		昼食(配食)
13:00		【池の平青少幼年センター】 ※受付後各施設へチェックイン	体験プログラム	退場
14:00		移動		
15:00				
16:00		友情ゲーム		
17:00	夕食	開 会 式 夕 食	夕 食	
18:00	フ · 皮	移動	у қ	
19:00	ナの部型		<u> </u>	
20:00	夜の課業	寺内町の夏まつり 【池の平青少幼年センター】	大 営 火	
21:00	消 灯	参加隊長会議	就	
22:00		就		

大谷スカウト連合協議会結成60周年記念全国大会開催の願い

結成 60 年を迎えた大谷スカウト連合協議会は、結成当時全国の真宗寺院を母体とする 大谷スカウト団の指導者のスキルアップ・スカウト訓練・仏教章取得の推進などの事業を通し て、真宗大谷派の野外を教場とした青少幼年教化活動の屋台骨を支えてきた。

野外生活が単なるレクリエーションと化した今日にあっても、依然として教育キャンプのノウハウを持って、人間形成へのたゆみない歩みを続けている。

2008年に新潟県上越市三ノ輪台を会場に開催された50周年記念大会から10年。今回は大谷スカウトとゆかりの深い池の平青少幼年センターを会場として、全国の大谷スカウトが一同に会して舎営による「記念大会」を開催する。60年の歩みを確かめ、さらなるスカウト運動による青少幼年教化活動への力強い歩みの第一歩を踏み出す契機とする。

- 1. 大会の名称 大谷スカウト連合協議会結成 60 周年記念全国大会 呼称「メモリアル・グラン・ミーティング」 略称 (60MGM)
- 2. テーマ 「温故知新」 リバイバルー
- 3. 会 場 真宗大谷派 池の平青少幼年センター (新潟県妙高市関川 2283) 宿泊先:妙高高原池の平温泉のペンション※宿泊は分宿となります。 (宿泊施設は、青少幼年センターを中心に半径 800m 以内にある。)
- 4. 会場の環境

今大会の会場となる「妙高高原池の平」は、日本百名山の一つ、妙高山東麓の標高 760m の高原にある温泉地である。水芭蕉の群生地として知られる「いもり池」に近い林の中に、真宗大谷派(東本願寺)「池の平青少幼年センター」がある。センターは、宗祖親鸞聖人御誕生 800 年・立教開宗 750 年の慶讚事業として、1973(昭和 48)年に設立され、四季を通して自然の中で様々な野外生活をゆったりと満喫できる場所である。

5. 期 間 2017年8月4日(金)~6日(日) 2泊3日 舎営

<入・退場>

入場:参加隊毎に8月4日(金)午後1時30分までに池の平青少幼年センター前の本部テントで受付を済ませてから、宿泊先のペンションにチエックインすることを原則とする。

退場:8月6日(日)の閉会式終了後の昼食受け取り後とする。

6. 参加費

- (1) 参加費は、2泊3日一人あたり20,000円とする。
- (2) 参加費は、次の費用に充てる。
 - ・8月4日夕食から6日昼食までの6食分の食事と宿泊代。

- ・参加章1枚と記念キャップ及び配布資料等の費用。
- ・会場の設備及び運営費の一部。医療・衛生費。大会期間中の傷害保険料など。
- (3) 参加費は、参加確定申込書(6月15日申込締切)とともに納入する。
- (4) 納入した参加費は、他の参加者に振り替えることはできるが、払い戻しはしない。

7. 参加資格

- ・2016 年度大谷スカウト連合協議会登録済の団及び個人登録済の指導者・スカウト及びスカウトの家族。
- ・現隊の隊長及び保護者の参加承認を得ている者。
- 大会実行委員会が参加を承認した者。
- 8. 参加人数 ボーイ・ガールスカウトの全部門及び大会運営スタッフを含めて500名。
- 9. 参加申込の方法と参加費の納入
 - (1) 各参加隊は、所定の「参加予備申込書」に記入の上、2017年4月7日(金)までに大会事務局宛に「参加予備申込書」を提出する。FAXでの申し込みも可能。

〒600-8164 京都市下京区上柳町 199 真宗大谷派青少幼年センター内 大谷スカウト全国大会事務局 宛 TEL 075-354-3440 FAX 075-351-9599 oyc@higashihongan ji. or. jp

(2) 確定申込は、予備申込のあった参加隊に「参加確定申込書」を送付し、参加隊は「参加確定申込書」と「参加費」を大会事務局に送る。締切りは 2017 年 6 月 15 日 (木) とする。

10. 大会の活動と日程

- (1) 大会の日程は、日程表のとおりとする。
- (2) 全体行事は、開・閉会式、宗教儀礼(日曜礼拝)・寺内町の夏まつり・大営火とし、参加者が一同に参加する。

11. 食 事

(1) 食事は、8月4日(金)夕食から8月6日(日)の昼食までの6食を給食する。

12. 服装及び携行品

- (1) 参加者の服装は正装とする。(ただし、期間中の正帽は大会記念キャップとする。)
- (2) 正装は、開・閉会式のみの着用とし、野外活動中は、それにふさわしい服装とする。
- (3) 個人装備の一例

□制服	□雨具	□T シャツ	などの	舌動着	□下着の着替	え 口替	え靴下	□パジャマ	
□汗ふき	シタオル	□洗面具	□作業	手袋 🗆]虫よけスプレ				
□懐中電		請球・予備電	[池)	□水筒	□筆記用具	□念珠	□大谷	スカウト手帳	

健康保険証(コピー)※プログラムによっては、別途装備が必要になる場合があります

(4) 隊装備の一例

□隊旗及び付属品	□参加申込	【書控	□健康記録書	□寺内町出品物	□事務用品
□チエックイン前後	後の食料品	□裁紛	逢セットなどの神	甫修用品	
※その他参加隊	で必要と思わ	つれる	も の。		

13. 安全管理

- (1) 引率指導者は、大会期間中の安全指導、安全管理について常に万全の配慮をして快適な集団 生活を過ごすとともに、事故発生の防止に努めなければならない。よって、各隊に安全係を 置き指導の徹底をしてもらいたい。
- (2) ペンションを宿泊先とすることから、非常口などへの避難経路を確認するなどオーナーとの 連携を密にするとともに、スカウトに宿泊のルールなどの指導を徹底してもらいたい。
- (3) 本大会に参加するスカウト、指導者ともに「おきて」の実践に務めること。

14. 緊急避難

- (1) 台風や豪雨によって野外活動が困難であると判断された場合は、運営本部長の指示によって活動を中止して、各宿泊先での「待機命令」を発令する。
- (2) 待機の指示をうけた参加隊は、参加者の所在を確認して、運営本部に人数と状況を報告する。

15. 保険及び救護衛生

- (1) 参加者救護のために、池の平青少幼年センター内に救護所を設置する。救護所で応急できない傷病者については、適当な医療機関に搬送する。
- (2) 参加者は、健康記録書に記入して、参加隊長に提出する。
- (3) 参加隊長は、事故ある時に該当する隊員の健康記録書をいつでも提出できるように保管しておくこと。
- (4) 参加者全員が傷害保険に加入する。(参加費に含む)
- (5) センターの広場を使用した際のゴミ処理は、指定された場所に集積すること。池の平では、 熊などの大型獣のほかに多くの小動物がいるため、絶対に野外のゴミ放置はできない。

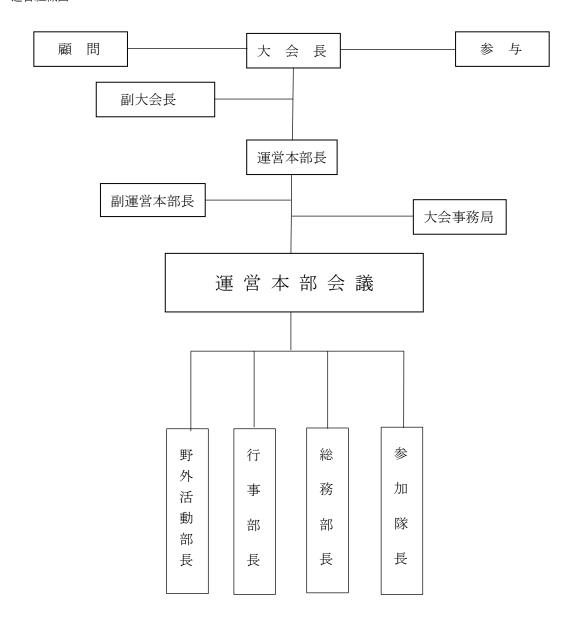
16. 撤 収

- (1) 参加隊は、各宿泊先のルールに応じた後片付けを行って、8月6日(日)に各ペンションをチェックアウトし、午前10時から池の平青少幼年センターで開催される宗教儀礼(日曜礼拝)、閉会式に参加すること。
- (2) 閉会式終了後、昼食を受け取り、大会本部に報告して退場するものとする。

17. 野外活動プログラム

野外活動の各部門別の開催要項は別に定める。

- 18. 主 催 真宗大谷派青少幼年センター
- 19. 企画実施 大谷スカウト連合協議会
- 20. 運営組織図



2017 大谷スカウト全国大会 個 人 健 康 記 録 書

ふり	がな			生年			年	月	日	血液型
氏	名			月日				(歳)	
住	所	〒 −			•		5	()
*	該当	する項目の□の中にレ	仰をつ	けって	<u> </u>	ださい。				
1.	元気	がない		14	1.	よく寝ほ	ぎける			
2.	発熱	しやすい		15	5.	水泳がて	きない	()		
3.	腹痛	が時々ある		16	3.	激しい運	動が、	できない	ハ病気や)
4.	頭痛	が時々ある				身体に不	自由が	ある		
5.	息切	れする				()
6.	神経	質である		17	7.	10 日以」	上の入	院また	は治療を	とした
7.	病欠	日数が多い				ことがあん	る			
8.	てん	かんもちである				()
9.	ぜん	そくもちである		18	3.	現在病気	〔がある	3		
10.	薬ア	レルギーがある				(病名)
	()	19	9.	現在薬を	服用	してい	る	
11.	食物	アレルギーがある				(薬品名)
	()	20).	ジンマシ	ンとが	かカブ	レやすい	\
12.	乗り物	か酔いをする		2	1.	スポーツ	傷害個	呆険に	入ってい	る□
13.	たまに	こ寝小便をする		22	2.	スカウト	傷害	呆険に	入ってい	る□

上記の者の大谷スカウト全国大会参加を承認します。

2017年 月 日

保護者の氏名		団委員長	
	(EI)		(EII)